



INDAS



国立民族学博物館
National Museum of Ethnology

2018年度南アジアセミナー

参加者募集

2018 8月1日(水) - 3日(金)

国立民族学博物館 第4・6セミナー室(本館2階)

所在地: 大阪府吹田市千里万博公園10-1

電話: 06-6876-2151

アクセス: <http://www.minpaku.ac.jp/museum/information/access>



Access

人、モノ、文化が流動する現象 を地域研究はどのように捉えるのか

本年度の南アジアセミナーでは、地域研究の視点から流動する人、モノ、文化をテーマにした公開講演を開催するとともに、上記の関連テーマはもちろんのこと、南アジアを対象とする幅広いテーマからの研究発表を募集いたします。

企画担当: 南アジア地域研究国立民族学博物館副中心拠点

参加無料

募集人数20名程度(発表者7~10名)

応募締切 6月15日(金)17時00分

募集についての詳細は裏面をご覧ください

NIHU プログラム「南アジア地域研究」主催 2018 年度 南アジアセミナー

南アジア地域研究のフロンティア——流動する人、モノ、文化を捉える

セミナーの内容

- 1 招聘講師による公開講演（敬称略、五十音順）
工藤正子（京都女子大学現代社会学部・教授）
「南アジア系ディアスポラにおける文化変容——日本人の母と
パキスタン人の父をもつ若者たちのアイデンティティ交渉」
高田峰夫（広島修道大学人文学部・教授）
「バングラデシュとイスラーム——歴史・地理・社会」
豊山亜希（近畿大学国際学部・講師）
「南アジア世界のヴィジュアルリティ」
森本泉（明治学院大学国際学部・教授）
「流動するネパール——楽師カースト・ガンダルバとサラングをめぐる変化」
- 2 参加者による研究発表
- 3 みんぱく施設案内（図書室、展示場、収蔵庫など）
- 4 南アジア展示の解説（上羽陽子・国立民族学博物館准教授）
- 5 映画『カーンチワラム サリーを織る人』の上映および解説
（杉本良男・国立民族学博物館名誉教授）

応募資格

南アジアに関連する人文・社会・自然科学分野の研究に従事する大学院生や PD、もしくは左記に相当する研究歴を有する者、または「南アジア地域研究」拠点から推薦を受けた学部生で、積極的に参加する意志をもつ者。

募集人員

約 20 名程度（研究発表者は 7～10 名）

参加費

無料。関西圏外在住の受講者には旅費に関する補助金を一部支給する予定だが、日本学術振興会特別研究員等の採用者はその対象ではない。詳細については、受講決定者に追って連絡する。

応募方法

以下の書類を応募先に E-mail で送信する。

- 略歴書（所定の書式をホームページよりダウンロード）
- 自薦書（1000～1200 字程度、様式自由）
- 発表要旨（1200 字程度で発表内容を記載、様式自由）

※ 発表には、a) 研究発表（レジュメに基づく研究発表＋質疑応答）と b) フルペーパー発表（投稿予定の論文や博論の一部等を事前に共有して行う発表＋質疑応答）の 2 つがある。応募の際には必ず希望する発表方法を明記すること。なお、参加のみを希望する者はその旨を明記すること。

応募 お問合せ先

NIHU プロジェクト「南アジア地域研究」
京都大学中心拠点事務局

<http://www.indas.asafas.kyoto-u.ac.jp/seminar/20180801>

indas_office@asafas.kyoto-u.ac.jp

※応募・お問合せは E-mail を原則とする。

応募の締切

平成 30 年 6 月 15 日（金）17 時 00 分

参加者の決定

応募書類に基づき、2018 年度南アジアセミナー実行委員会において選考の上、6 月下旬までに通知する。

その他

- ① 参加者はセミナーの全日程に参加すること。
- ② セミナー開催期間中の宿泊場所は各参加者が手配すること。
- ③ 応募書類は返却しない。



INDAS



E-mail

企画担当：南アジア地域研究国立民族学博物館副中心拠点

